



ケニア共和国

Republic of Kenya

2007年8月現在



一般事情

- 1.面積 58.3万平方キロメートル(日本の約1.5倍)
- 2.人口 3,430万人(2005年:世銀)
- 3.首都 ナイロビ(Nairobi)(220万人)
- 4.民族 キクユ人、ルヒヤ人、カレンジン人、ルオ人等
- 5.言語 スワヒリ語、英語
- 6.宗教 伝統宗教、キリスト教、イスラム教
- 7.国祭日 12月12日(独立記念日)
- 8.通貨 ケニア・シリング(K.shs)
為替レート 1ドル = 66.95シリング(2007年5月30日現在)
補助通貨単位 -

9.査証(ビザ)

- 10.在留邦人数 691人(2007年1月現在)
- 11.在日当該国人数 409人(2003年12月末日現在登録者数)
- 12.電源 240 V 50 Hz
- 13.国際電話 国番号 254 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 0.64 US\$ (20本当り)
税率 52.1%
製造数量 7,500(百万本/年)
シガレットメーカー

コンセント・タイプ



British American Tobacco Kenya	B.A.T.
--------------------------------	--------

15.略史

年月	略史
1963年	英国から独立
1964年	共和制移行(ケニヤッタ大統領)
1978年	モイ大統領就任(1983、1988、1992、1997年に再選)
1982年	ケニア・アフリカ人国民同盟(KANU)による一党制法制化。
1991年	複数政党制再導入
2002年	総選挙。キバキ大統領就任(任期5年)

16.在外大使館・領事館

在ケニア日本国大使館
Embassy of Japan in Kenya
Embassy of Japan, Mara Road, Upper Hill, Nairobi, Kenya
Tel +(254-20) 2898000 Fax +(254-20) 2898220

17.駐日大使館・領事館

ケニア共和国大使館
Embassy of the Republic of Kenya in Japan
〒152-0023 目黒区八雲3丁目24-3
電話:03-3723-4006、03-3723-4007

政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 ムワイ・キバキ(Mwai Kibaki)大統領 (2002年12月30日就任)
- 3.議会 一院制(224議席、任期5年)
- 4.与党 ナショナル・レインボウ・コアリション(NARC)
- 5.政府 (1)首相名 ポストなし
(2)外相名 ラファエル・トゥジュ(Raphael Tuju)

6.内政

内外の圧力により1991年複数政党制へ再度移行したが、1992年、1997年の総選挙ではいずれもモイ前大統領が再選、KANUが勝利した。

モイ大統領の引退を受けた2002年の選挙で野党連合NARCのキバキ氏がモイ大統領の推すKANUのウフル・ケニヤッタ氏(ケニヤッタ初代大統領の息子)を破り、独立後初の野党への政権交代が実現した。

ウフル・ケニヤッタ氏擁立をめくり選挙前にライラ・オディンガ、サイトティ、ムシヨカ等有力政治家多数がKANUを脱党、野党連合に加わった。

2005年11月、独立以来初となる憲法改正国民投票が否決されたことを受け、キバキ大統領は全閣僚を解任(2005年12月に改めて任命)。

2007年12月、大統領選挙及び国会議員選挙を予定。

外交・国防

1.外交基本方針

非同盟外交を標榜しているが、英国をはじめとする欧米諸国との関係は深い。

東アフリカにおける重要な安定勢力であり、周辺国より多数の難民を受け入れてきている他、近年、ソマリア、スーダンの内戦等域内の和平調停等に積極的に関与。

タンザニア、ウガンダとの東アフリカ三国の協力関係である東アフリカ共同体(EAC)を推進。

2.軍事力(2005年ミリタリーバランス)

- (1)支出 3.68億ドル(2002年)
- (2)兵役 志願制
- (3)兵力 総兵力24,120人 陸軍20,000人、海軍1,620人、空軍2,500人

経済(単位 米ドル)

- 1.主要産業 (農)コーヒー、紅茶、サイザル麻、綿花、とうもろこし、除虫菊
(工)食品加工、ビール、タバコ、セメント、石油製品、砂糖
(鉱)ソーダ灰、ほたる石
- 2.GNI 180億米ドル(2005年:世銀)
- 3.一人当たりGNI 530米ドル(2005年:世銀)
- 4.経済成長率 5.8%(2005年:世銀)
- 5.物価上昇率 4.3%(2005年:世銀)
- 6.失業率 不明
- 7.総貿易額・主要貿易品目(2004年)
総貿易額 72.5億米ドル
(1)輸出 26.93億ドル 紅茶、園芸作物、コーヒー、石油製品
(2)輸入 45.53億ドル 機械、石油製品、自動車、食用油
- 8.主要貿易相手国(2003年)
(1)輸出 ウガンダ、英、タンザニア、オランダ
(2)輸入 ア首連、英、日本、米
- 9.通貨 ケニア・シリング(K.shs)
- 10.為替レート 1ドル = 66.95シリング(2007年5月30日現在)
- 11.経済概況

比較的工業化が進んでいるものの、コーヒー、茶、園芸作物などの農産物生産を中心とする農業国。農業がGDPの約25%、労働人口の約60%を占める。1990年代後半、旱魃及びエルニーニョ現象による大雨のため農作物やインフラに深刻な被害が生じ、治安の悪化もあって、2000年にはマイナス成長となったが、近年は回復基調にある(2002年は1.1%、2003年は1.8%、2004年は4.3%)。

2004年3月、隣国ウガンダおよびタンザニアの3ヶ国間で対外共通関税同盟に署名した。

経済協力

- 1.日本の援助実績(2005年までの累積)
 - (1)有償資金協力 1,833.87億円(2005年度まで、E/Nベース)
 - (2)無償資金協力 879.26億円(2005年度まで、E/Nベース)
 - (3)技術協力実績 832.07億円(2005年度まで、JICAベース)
- 2.主要援助国(2004年)(百万ドル)
(1)米(140.9)(2)日(70.9)(3)英(45.8)(4)独(41.7)(5)仏(32.2)

二国間関係

1.政治関係

1963年12月、独立と同時に承認。
1964年6月に駐ケニア大使館設置。
1979年1月、駐日ケニア大使館開設。

2.経済関係

- (1)貿易額・主要貿易品目(2002年、通商白書)
輸出 208.84億円 貨物自動車、乗用自動車、機械、鉄鋼板
輸入 34.72億円 魚切身、コーヒー、ナッツ類、紅茶
- (2)我が国からの直接投資
47件 5,839百万円(1999年までの累計)

3.文化関係

- (1)我が国より文化無償協力として、
ボマス・オブ・ケニア劇場の音響・照明・記録機材(2000年度:4,330万円)、
博物館研究機材(1999年度:3,650万円)、
スポーツ器材(1998年度:4,700万円)、
LL機材(1997年度:3,700万円)等を供与
- (2)劇団風の子派遣(1984年)、
ジャズ・太鼓グループ等の派遣(1989、1992、1996、1998、1999、2001、2002年)
- (3)文化協定なし

- 4.在留邦人数 691人(2007年1月現在)
- 5.在日当該国人数 409人(2003年12月末日現在登録者数)
- 6.要人往来(1981年以降)

(1)往訪

年月	要人名
1981年	鯨岡環境庁長官
1983年	皇太子・同妃両殿下
1994年	玉沢防衛庁長官
1997年8月	石井環境庁長官
1999年1月	橋本前総理
1999年12月	高円宮同妃両殿下
2001年1月	森総理大臣
2003年3月	矢野外務副大臣
2003年8月	鶴保国土交通政務官
2004年9月	矢野参議院自民党国会対策委員長
2004年12月	河井外務大臣政務官

(1) 往訪	年月	要人名
	2005年3月	福島外務大臣政務官
	2005年11月	逢沢外務副大臣
		矢野参議院自民党国会対策委員長
	2006年7月	矢野参議院自民党国会対策委員長
	2006年8月	村田衆議院自民党国会対策筆頭副委員長
	2006年9月	中川農林水産大臣
	2006年11月	若林環境大臣
	2007年1月	田中財務副大臣

(2) 来訪	年月	要人名
	1981年	オウコ外相
	1982年	モイ大統領(国賓)
	1987年	サイトティ蔵相
	1989年	モイ大統領(大喪の礼参列)
	1990年	サイトティ副大統領兼蔵相
	1990年	モイ大統領(即位の礼参列)
	1993年	サイトティ副大統領(アフリカ開発会議出席)
	1994年	ワコ司法長官
	1994年	ムダバディ大蔵大臣(高級実務者招聘)
	1995年9月	サイトティ副大統領(福田元総理葬儀参列)
	1998年2月	ピウォット東アフリカ地域協力大臣 (EAC閣僚使節団)
	1998年10月	ゴダナ外相(第2回アフリカ開発会議出席)
	2000年6月	サイトティ副大統領(小淵前総理葬儀参列)
	2001年12月	アウティティ計画相(TICAD閣僚レベル会合)
	2003年2月	キトゥイ貿易産業相(WTO東京非公式閣僚会合出席)
	2003年3月	カルア水資源相(水フォーラム出席)
	2003年4月	バララ文化・スポーツ相
	2003年7月	ムウイラリア財務相 アヤコ・エネルギー相
	2003年9月	ニヨンゴ計画相(第3回アフリカ開発会議出席)
	2004年3月	ムショカ外相、トゥジュ観光・情報相
	2004年11月	キバキ大統領 (実務訪問賓客・TICADアジア・アフリカ貿易投資会議)
		ムワクウェレ外相 キトゥイ貿易産業相、ニヨンゴ計画・国家開発相 トゥジュ情報通信相
	2005年2月	マータイ環境・天然資源副大臣(毎日新聞招待) ニヨンゴ計画・国家開発大臣 ンギル保健大臣
	2005年3月	マータイ環境・天然資源副大臣(万博協会招待)
	2005年6月	キトゥイ貿易・産業大臣
	2005年8月	キトゥイ貿易・産業大臣 ドゥソロ観光・野生動物大臣
	2006年9月	ドゥソロ観光・野生動物大臣
	2006年11月	トゥジュ外相

7. 二国間条約・取極

1966年 青年海外協力隊派遣取極
1984年 同取極一部改正
2004年 技術協力協定

8. 外交使節

(1) 当該国駐箚日本国大使 宮村 智特命全権大使(2004年9月より)
(2) 本邦駐箚当該国大使 デニス・ノエル・オドゥヤ・アウォリ特命全権大使(2004年3月より)